



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月1日

上場会社名 第一実業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8059 URL <https://www.djk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 宇野 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 上田 雄三 (TEL) 03-6370-8697  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	29,616	13.1	545	54.3	890	41.0	519	25.8
2022年3月期第1四半期	26,187	—	353	△57.9	631	△43.7	412	△40.9

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 834百万円(85.9%) 2022年3月期第1四半期 448百万円(△59.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	48.48	48.29
2022年3月期第1四半期	38.59	38.41

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。このため、2022年3月期第1四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	129,112	58,614	45.2
2022年3月期	132,235	58,722	44.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 58,343百万円 2022年3月期 58,587百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	60.00	—	85.00	145.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	45.00	—	65.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	66,000	△3.8	2,300	△24.4	2,400	△26.2	1,600	△29.0	149.41
通期	140,000	△5.5	5,500	△19.9	5,800	△25.6	3,900	△27.3	364.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	11,086,400株	2022年3月期	11,086,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	377,274株	2022年3月期	377,294株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	10,709,106株	2022年3月期1Q	10,693,206株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、国内において経済活動の再開に伴う個人消費の持ち直しや設備投資意欲の高まりにより景況感の改善がみられる一方で、依然続く原材料価格の高騰や円安の影響による物価高、一部企業の収益悪化の懸念が払拭できない状況となっております。今後、企業がコスト高を販売価格に転嫁し収益を拡大することにより景況が上向いてゆくのか、物価高による個人消費の低迷により経済の停滞を招いてゆくのか、見極めが困難な局面となっております。

このような状況の中で、車載用リチウムイオン電池製造設備や国内外向け各種プラント用設備の売上が増加したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間に比べて34億28百万円増加の296億16百万円（前年同期比13.1%増）となりました。また、営業利益は1億91百万円増加の5億45百万円（前年同期比54.3%増）、経常利益は2億58百万円増加の8億90百万円（前年同期比41.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億6百万円増加の5億19百万円（前年同期比25.8%増）となりました。

報告セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## プラント・エネルギー事業

国内外向けの各種プラント用設備等の売上が増加したため、売上高は7億70百万円増加の33億52百万円（前年同期比29.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は56百万円増加の1億10百万円（前年同期比105.7%増）となりました。

## エナジーソリューションズ事業

国内外向けリチウムイオン電池製造設備等の売上が増加したため、売上高は16億16百万円増加の31億87百万円（前年同期比102.9%増）となり、セグメント損益（営業損益）は85百万円増加の56百万円の利益となりました。

## 産業機械事業

プラスチック製品・食品関連業界向けの成形機及び周辺機器、自動加工機等の売上が堅調であったため、売上高は45百万円増加の32億99百万円（前年同期比1.4%増）となりましたが、セグメント損失（営業損失）は52百万円増加の1億28百万円となりました。

## エレクトロニクス事業

I T及びデジタル関連機器製造会社向けの電子部品製造関連設備等の販売が増加したため、売上高は5億50百万円増加の112億32百万円（前年同期比5.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は54百万円増加の5億30百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

## 自動車事業

自動車関連業界向けの自動組立ライン、塗装ライン、車載電子部品製造関連設備等の売上が減少したため、売上高は3億65百万円減少の51億18百万円（前年同期比6.7%減）となり、セグメント利益（営業利益）は67百万円減少の1億8百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

#### ヘルスケア事業

錠剤印刷検査装置やパッケージング用機器・装置等の売上が増加したため、売上高は7億63百万円増加の29億37百万円（前年同期比35.1%増）となりましたが、セグメント利益（営業利益）は5百万円減少の1億円（前年同期比5.6%減）となりました。

#### 航空・インフラ事業

自治体及び官公庁向け特殊車両の売上が増加したため、売上高は36百万円増加の4億24百万円（前年同期比9.3%増）となりましたが、セグメント損失（営業損失）は33百万円増加の90百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、31億22百万円減少の1,291億12百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産の減少があったことによるものであります。

負債合計は、30億14百万円減少の704億98百万円となりました。これは主に、前受金の増加があったものの、支払手形及び買掛金や短期借入金の減少があったことによるものであります。

純資産合計は、1億8百万円減少の586億14百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益5億19百万円の計上があったものの、配当金の支払いがあったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表した内容に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,422	31,629
受取手形、売掛金及び契約資産	—	26,635
受取手形及び売掛金	35,184	—
電子記録債権	9,486	6,904
商品及び製品	19,402	21,920
仕掛品	1,392	1,787
原材料及び貯蔵品	550	566
前渡金	15,938	17,363
その他	4,752	5,955
貸倒引当金	△109	△112
流動資産合計	115,021	112,650
固定資産		
有形固定資産	3,073	3,075
無形固定資産	1,651	1,564
投資その他の資産		
投資有価証券	9,858	9,156
退職給付に係る資産	1,270	1,262
繰延税金資産	484	513
その他	1,017	1,031
貸倒引当金	△142	△141
投資その他の資産合計	12,488	11,822
固定資産合計	17,213	16,462
資産合計	132,235	129,112
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,682	26,627
短期借入金	7,082	5,220
未払法人税等	1,375	175
前受金	27,362	29,632
引当金	1,451	854
その他	5,337	5,594
流動負債合計	71,292	68,103
固定負債		
長期借入金	360	330
繰延税金負債	974	1,122
引当金	20	20
退職給付に係る負債	463	484
その他	402	436
固定負債合計	2,220	2,394
負債合計	73,512	70,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,105	5,105
資本剰余金	3,812	3,812
利益剰余金	46,683	46,138
自己株式	△858	△858
株主資本合計	54,742	54,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,737	2,369
繰延ヘッジ損益	△414	△334
為替換算調整勘定	1,274	1,864
退職給付に係る調整累計額	248	247
その他の包括利益累計額合計	3,845	4,146
新株予約権	96	96
非支配株主持分	38	174
純資産合計	58,722	58,614
負債純資産合計	132,235	129,112

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	26,187	29,616
売上原価	21,905	24,492
売上総利益	4,281	5,123
販売費及び一般管理費	3,928	4,577
営業利益	353	545
営業外収益		
受取利息	18	20
受取配当金	108	134
仕入割引	103	63
為替差益	67	145
その他	25	28
営業外収益合計	323	391
営業外費用		
支払利息	8	6
持分法による投資損失	9	8
支払手数料	21	20
その他	6	11
営業外費用合計	45	46
経常利益	631	890
特別損失		
投資有価証券売却損	5	—
特別損失合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	626	890
法人税、住民税及び事業税	136	129
法人税等調整額	75	247
法人税等合計	212	376
四半期純利益	413	513
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	412	519



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	413	513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△340	△368
繰延ヘッジ損益	1	80
為替換算調整勘定	370	609
退職給付に係る調整額	3	△0
その他の包括利益合計	35	321
四半期包括利益	448	834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	448	819
非支配株主に係る四半期包括利益	0	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したDC ENERGY GMBHを連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							
	プラント・エネルギー事業	エナジーソリューションズ事業	産業機械事業	エレクトロニクス事業	自動車事業	ヘルスケア事業	航空・インフラ事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	2,582	1,571	3,253	10,681	5,484	2,174	388	26,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	127	24	51	207	54	—	—	465
計	2,709	1,595	3,304	10,889	5,538	2,174	388	26,601
セグメント利益又は損失(△)	53	△29	△75	476	175	106	△56	650

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
売上高				
外部顧客への売上高	51	26,187	—	26,187
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	472	△472	—
計	57	26,659	△472	26,187
セグメント利益又は損失(△)	△42	608	△254	353

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△254百万円には、セグメント間取引消去△162百万円、棚卸資産の調整額△103百万円及びその他の調整額11百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							計
	プラント・エネルギー事業	エナジーソリューションズ事業	産業機械事業	エレクトロニクス事業	自動車事業	ヘルスケア事業	航空・インフラ事業	
売上高								
外部顧客への売上高	3,352	3,187	3,299	11,232	5,118	2,937	424	29,553
セグメント間の内部売上高又は振替高	98	34	77	1	117	—	—	329
計	3,450	3,221	3,377	11,233	5,236	2,937	424	29,883
セグメント利益又は損失(△)	110	56	△128	530	108	100	△90	687

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
売上高				
外部顧客への売上高	62	29,616	—	29,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	336	△336	—
計	69	29,952	△336	29,616
セグメント利益又は損失(△)	△7	680	△134	545

注 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械・器具の賃貸、保険代理業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△134百万円には、セグメント間取引消去△166百万円、棚卸資産の調整額29百万円及びその他の調整額2百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。